口座開設
サービスガイド
- 株式
- 先物・オプション
  - 先物・オプション取引の特長
  - 取引ルール
  - 先物・オプションの予備知識
  - ツール
  - お取引までの流れ
- FXネオ
- 外為オプション
- くりっく365
- CFD
- 外国債券
- eワラント
- キャンペーン情報
- 手数料・費用一覧
- サービス時間一覧
- 入出金・振替方法
- ご利用環境
- 取引画面のご案内
- 取引規程・約款

よくあるご質問

取引ルール（先物・オプション取引）

先物・OPルールをご案内します。取引に関する詳細情報を記載しておりますので、各項目をお読みの上、お取引を行ってください。ご不明な点などございましたらお気軽にGMOクリック証券コールセンターまでお問い合わせください。

口座開設条件
完全前受制
取扱銘柄
注文方法
逆指値
取引時間
注文時間、取引経路
注文失効
取引単位
総建玉の上限
証拠金について
値洗いについて
追加証拠金について
不足金
受渡日
決済
税金

■口座開設条件

1. 100万円以上の金融資産をお持ちであること。
2. 先物・オプション取引口座開設時の口座開設基準として、80歳以下であること。
3. 現物取引経験が1年以上、または信用取引／先物・オプション取引の経験があること。（信用取引／先物・オプション取引の経験については期間を問いません。また、他社および当社での経験を合算します）。
4. 「先物・オプション取引口座設定約諾書」、「株価指数先物・オプション取引の契約締結前交付書面」、「先物取引規程」、「オプション取引規程」、「先物取引ルール」、及び「オプション取引ルール」の内容を熟読し、ご理解いただけること。
5. 「先物・オプション取引口座設定約諾書」、「先物取引に関する確認書」、及び「オプション取引に関する確認書」を電磁的方法で差し入れていただくこと。
6. 常時、会員ページの「お知らせ」を確認していただけること。（追加証拠金発生時のお知らせを含め、先物・オプション取引に係る各種ご連絡は原則として会員ページを通して行います）。
7. 常時、当社からの電話連絡が行えること。（緊急時にはお電話によるご連絡を行う場合があります）。
8. お客様の連絡先電話番号を正確にご登録いただけること。
9. 当社証券口座開設済みであること。

【ご注意】
上記基準を満たしている場合であっても、審査の結果によっては口座開設のご希望に添いかねる場合がありますのであらかじめご了承ください。なお、審査の結果については開設の可否に係わらず、すべて非開示とさせていただいております。

■完全前受制

当社では「完全前受制度」を採用しています。「買建可能枚数・売建可能枚数」の範囲内で、ご注文をお受けいたします。オプション取引の買注文は、「買付余力」の範囲内で受付けます。「買建可能枚数・売建可能枚数」は、事前に差し入れていただいている証拠金の額、先物・オプション建玉の損益状況および必要証拠金等に基づき計算いたします。

■取扱銘柄

日経225先物取引・ミニ日経225先物取引　買建および売建　全限月
日経225オプション　買建および売建　全限月

■注文方法

【日経225先物取引、ミニ日経225先物取引】
新規注文は「先物新規」から、注文する「指数」と「限月」を選択してください。
返済注文は「建玉一覧」から、注文する「指数」と「限月」を選択してください。
逆指値注文は、注文タイプの「逆指値」を選択してください。

<table>
<tr><td>取引</td><td>新規買注文の場合は「新規－買」、新規売注文の場合は「新規－売」を選択してください。</td></tr>
<tr><td>指数</td><td>選択した指数が表示されます。</td></tr>
<tr><td>限月</td><td>選択した限月が表示されます。</td></tr>
<tr><td>取引数量</td><td>注文数量を入力してください。1回あたりの発注上限は、それぞれの総建玉の上限の範囲内で可能です。
なお、総建玉の上限はこちらでご確認ください。</td></tr>
<tr><td>逆指値条件</td><td>逆指値注文のときは、市場に発注する条件となる価格をご入力ください。</td></tr>
<tr><td>指値／成行</td><td>指値注文のときは注文値段をご入力ください。成行注文のときは「成行」を選択してください。
<table>
<tr><th>注文方法</th><th>指値／成行</th><th>執行区分</th><th>注文の内容</th></tr>
<tr><td>寄成注文</td><td>成行</td><td>寄付</td><td>前場又は後場又はイブニング・セッションの寄付に執行することを条件とした成行注文です。
前場寄付前に発注された寄成注文は、前場の寄付にのみ有効となり、後場寄付前の発注は、後場の寄付にのみ有効となります。
（イブニング・セッションへの引き継ぎもありません。）
逆指値注文の場合は選択できません。</td></tr>
<tr><td>引成注文</td><td>成行</td><td>引け</td><td>前引け又は大引け又はイブニング・セッションの大引けに執行されることを条件とした成行注文です。
前場引け前に発注された引成注文は、前場の引けにのみ有効となります。
（後場には引き継がれません。また、後場からイブニング・セッションへも引き継がれません。）</td></tr>
<tr><td>寄指注文</td><td>指値</td><td>寄付</td><td>前場又は後場又はイブニング・セッションの寄付に執行することを条件とした指値注文です。
前場寄付前に発注された寄指注文は、前場の寄付にのみ有効となります。
（後場には引き継がれません。また、後場からイブニング・セッションへも引き継がれません。）
逆指値注文の場合は選択できません。</td></tr>
<tr><td>引指注文</td><td>指値</td><td>引け</td><td>前引け又は大引け又はイブニング・セッションの大引けに執行されることを条件とした指値注文です。
前場引け前に発注された引指注文は、前場の引けにのみ有効となります。
（後場には引き継がれません。また、後場からイブニング・セッションへも引き継がれません。）</td></tr>
<tr><td>指成注文</td><td>指値</td><td>指成</td><td>引けまでは指値注文として扱われ、その間に約定が一部でも成立しなかった場合は、自動的に引けの成行注文となります。</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>有効期限</td><td>有効期限は「当日限り」又は「週末まで」のいずれか一方を選択してください。
逆指値注文で「週末まで」を選択された場合でも、逆指値注文が市場に発注されると「当日限り」の扱いになります。その場合、当日に約定しなければ失効となります。</td></tr>
<tr><td>執行区分</td><td>「寄付」、「引け」、又は「指成」を選択することができます。
※デフォルトは「なし」になっています。</td></tr>
</table>

【ご注意】
「当日限り」のご注文では、日中取引からイブニング・セッションへ、又は、イブニング・セッションから日中取引への注文の引き継ぎはございません。日中取引大引けおよびイブニングセッション大引け時点で注文は失効します。

注文の有効期限

	月曜		火曜		水曜		木曜		金曜		土曜	日曜
	日中	イブニング	日中	イブニング	日中	イブニング	日中	イブニング	日中	イブニング		
当日限り	この期間のみ有効	この期間のみ有効	この期間のみ有効	この期間のみ有効	この期間のみ有効	この期間のみ有効	この期間のみ有効	この期間のみ有効	この期間のみ有効	この期間のみ有効	月曜の日中のみ有効	
週末まで	この期間のみ有効									この期間のみ有効	翌週の金曜の日中まで有効	

【日経225オプション】
新規注文は「オプション新規」から、注文する「限月」、「コールまたはプット」、「行使価格」を選択してください。なお、「限月」は画面右上より選択できます。
返済注文は「建玉一覧」から、注文する「限月」、「コールまたはプット」、「行使価格」を選択してください。

<table>
<tr><td>取引</td><td>新規買注文の場合は「新規－買」、新規売注文の場合は「新規－売」を選択してください。</td></tr>
<tr><td>指数</td><td>「日経225オプション」が表示されます。</td></tr>
<tr><td>限月P/C</td><td>選択した限月、コールまたはプットが表示されます。</td></tr>
<tr><td>行使価格</td><td>選択した行使価格が表示されます。</td></tr>
<tr><td>取引数量</td><td>注文数量を入力してください。1回あたりの発注上限は、「新規－買」の場合は5,000枚、「新規－売」の場合は総建玉の上限の範囲内です。
なお、総建玉の上限はこちらでご確認ください。</td></tr>
<tr><td>指値</td><td>注文値段をご入力ください。なお、成行注文はできません。
<table>
<tr><th>注文方法</th><th>指値</th><th>執行区分</th><th>注文の内容</th></tr>
<tr><td>寄指注文</td><td>指値</td><td>寄付</td><td>前場又は後場又はイブニング・セッションの寄付に執行することを条件とした指値注文です。
前場から後場、後場からイブニング・セッションへの注文の引き継ぎはありません。</td></tr>
<tr><td>引指注文</td><td>指値</td><td>引け</td><td>前引け又は大引け又はイブニング・セッションの大引けに執行されることを条件とした指値注文です。
前場から後場、後場からイブニング・セッションへの注文の引き継ぎはありません。</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>有効期限</td><td>有効期限は「当日限り」となっております。
※日中取引からイブニング・セッションへ、又は、イブニング・セッションから日中取引への注文の引き継ぎはございません。</td></tr>
<tr><td>執行区分</td><td>「寄付」、又は「引け」を選択することができます。
※デフォルトは「なし」になっています。</td></tr>
</table>

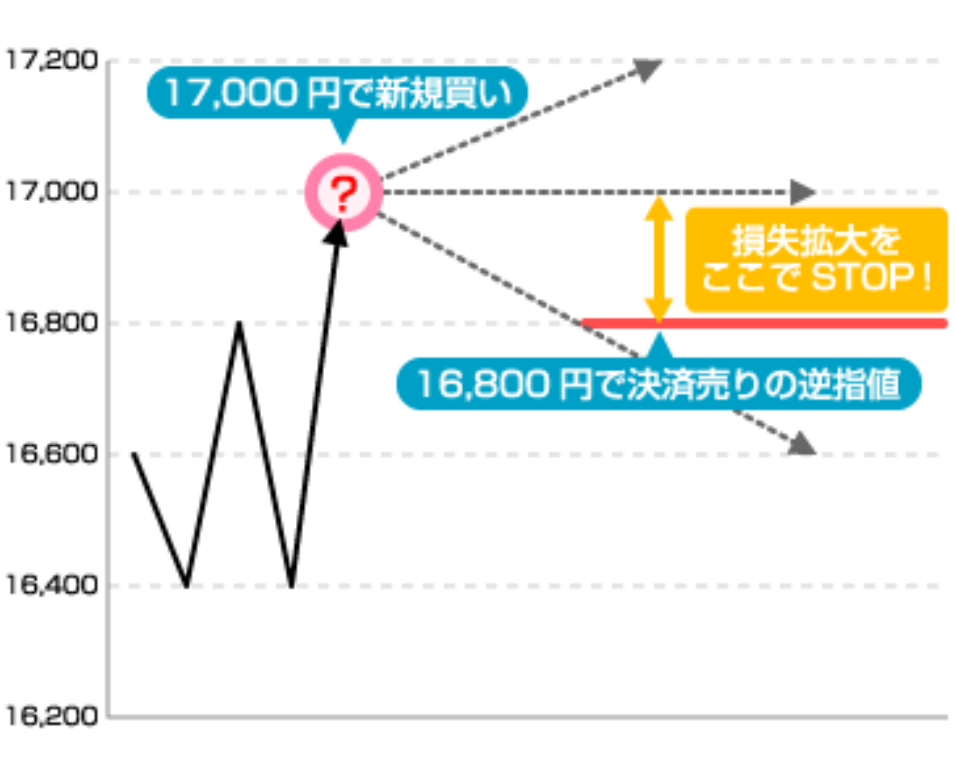
【ご注意】
「日経225オプション」には逆指値はございません。

■逆指値

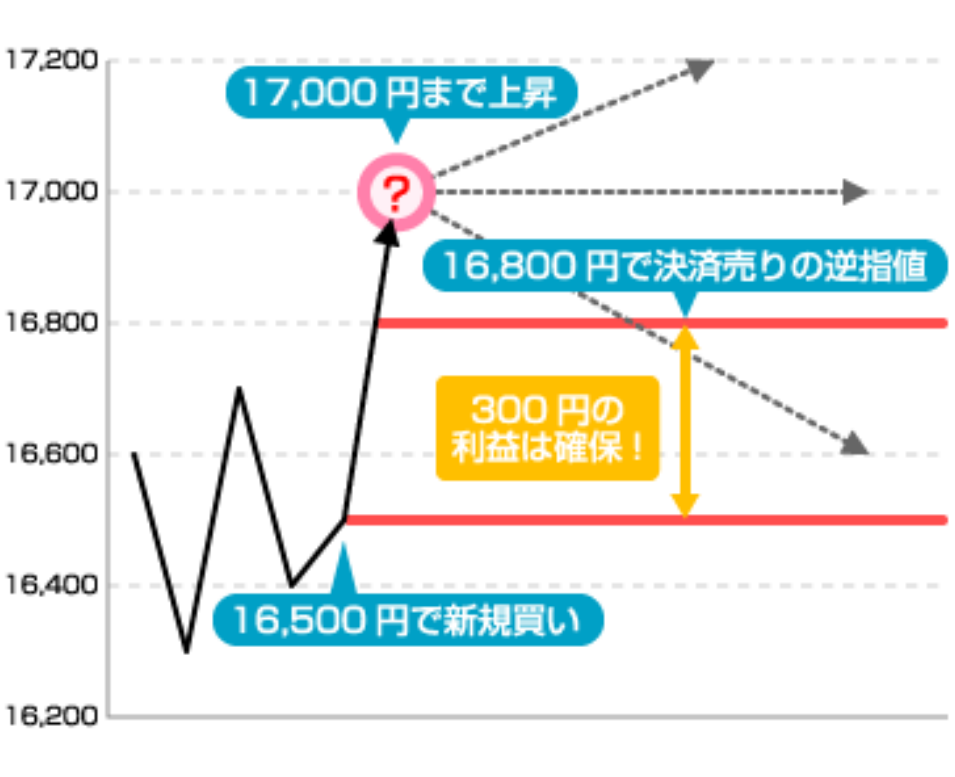
【逆指値注文とは】
逆指値注文とはお客様があらかじめ価格を指定し、現在値がその価格に到達すれば注文が市場に発注される注文方法です。当社では先物取引のみご利用いただけます。

【逆指値の利用方法】

・損失の限定



・利益の確定



・指値注文との併用で利益確定および損失限定

【ご注意】（免責事項）
お客様が指定された発注価格の到達は、当社が契約した情報配信ベンダーの価格情報を基に判定いたします。情報配信ベンダーの障害又は取引所の障害等により、発注の遅延等正常な発注ができない場合がございます。
また成行注文の場合、相場の急激な変動等によりお客様のご指定された発注価格と乖離した価格で約定するリスクがございます。
これら障害、相場の急変等による損失につきましては免責事項とさせていただきますので予めご理解のうえお取引ください。

■取引時間

毎営業日の前場9:00～11:00、後場12:30～15:10、イブニング・セッション16:30～23:30

■注文時間、取引経路

当社のホームページは原則として24時間アクセス可能です。
但し、メンテナンス時間については、会員ページへのログイン不可、又は取引注文不可の場合があります。
注文受付時間は日中取引 6:00～15:10、0:00～3:00
イブニング・セッション16:15～23:30となっております。
なお、お電話での注文受付はおこなっておりません（システム障害発生時を除きます）。

【ご注意】
- 新たな限月の取引は、日中取引は取引開始日の6:00より、イブニング・セッションは16:15より注文可能となります。
- 各限月の最終取引は、SQ日の前営業日の日中取引となります。
- 営業日の11:00から12:05頃までの注文の訂正・取消は、取引所の処理が開始されるまで、訂正中・取消中のままの表示となります（訂正済・取消済の表示とはなりません）。

■注文失効

「週末まで」の注文で、価格の変動等により買付余力がなくなった場合、約定前の注文は自動的に失効となります。

・金融商品取引所による取引規制
金融商品取引所が取引に異常があると認める場合又はそのおそれがあると認める場合には、次のような規制措置が取られることがあります。

1. 制限値幅の縮小
2. 証拠金の差入日時の繰上げ
3. 証拠金額の引上げ
4. 取引代金の決済日前における預託受入れ
5. 先物取引の制限又は禁止
6. 建玉制限

・弊社規制による取引規制
当社独自の判断により、個別の規制を行うことがあります。

■取引単位

日経225先物取引	日経225先物×1,000
ミニ日経225先物取引	ミニ日経225先物×100
日経225オプション	日経225オプション価格（プレミアム）×1,000

■総建玉の上限

日経225先物取引	買建玉・売建玉それぞれ500枚まで
ミニ日経225先物取引	買建玉・売建玉それぞれ5,000枚まで
日経225オプション	買建玉：上限なし 売建玉：プット・コールそれぞれ200枚まで

※1回あたりの発注上限は、上記の総建玉の上限の範囲内で可能です。ただし、日経225オプション買建玉の1回あたりの発注上限は5,000枚です。

■証拠金について

・必要証拠金
必要証拠金とは、新規建てを行う場合に必要となる証拠金のことをいいます。当社の必要証拠金は次の通りです。

日経225先物取引	1枚につきプライス・スキャンレンジ×1.0
ミニ日経225先物取引	1枚につき日経225先物の1単位あたりの必要証拠金の10分の1
日経225オプション（売建）	1枚につきプライス・スキャンレンジ×1.0
日経225オプション（買建）	概算受渡代金（買建代金＋手数料（税込））

※ プライス・スキャンレンジは，過去一定期間における原資産の日々の変動状況に基づき，大阪証券取引所が定めるSPANパラメーターです（現在のプライス・スキャンレンジは大阪証券取引所のホームページより確認することができます）

・証拠金所要額
証拠金所要額とは、お客様の建玉を維持するのに必要な証拠金の額をいいます。証拠金所要額は次の計算式により計算されます。
証拠金所要額 ＝ 当社基準SPAN証拠金額 － ネットオプション価値の総額

［当社基準SPAN証拠金額］
日々取引所より配信されるSPANリスクパラメータに基づき、当社の基準で計算されたSPAN証拠金額

［ネットオプション価値の総額］
買オプション価値の総額－売オプション価値の総額　※プラスの場合はゼロとします。

■値洗いについて

値洗い（ねあらい）とは、建玉を毎日の清算指数（大証発表の清算指数）で日々評価替えをし、その評価差損益を授受することです。
イブニング・セッションでの建玉は、翌営業日の清算指数で値洗いされます。
当社の場合、現在の口座の含み益・含み損を計算し、毎日、評価損益を計算することにより、追証の必要があるかどうかを判断しています。

■追加証拠金について

お客様の受入証拠金の額は、毎営業日引け後に値洗いします。お客様の受入証拠金額が証拠金所要額を下回った場合、追加証拠金（追証）として証拠金所要額回復相当額を先物・オプション取引口座にご入金していただく必要があります。

【ご注意】
- 追加証拠金発生時のご連絡は、会員ページの「お知らせ」により行います。原則として電話によるご連絡は致しませんのでご了承ください。
- 証券取引（現物取引・信用取引）口座に余力がある場合は、証券取引口座からの振替手続きのみで入金は完了します。
- 金融機関等から入金された現金は直接先物・オプション取引口座に反映されません。証券取引口座より振替手続きをお願いします。当該振替手続きが行われていない場合、先物・オプション取引口座に入金されたことになりませんのでご注意ください。
- お客様の証券取引口座において追加保証金等が発生している場合、当該証券取引口座への入金が優先されます。その場合、先に証券取引口座の余力を回復した後でなければ、先物・オプション口座への振替手続きが出来ませんのご注意ください。
- 追加保証金の入金がない場合で、株式口座に余力がある時は、当社の任意で現金の振替を行います。
- 本ご注意は、次の「■不足金」の場合にも適用されます。

【追証の期日】
追証発生日の翌営業日の正午まで

【追証の期日を超過した場合】
追証発生日の翌営業日の午後以降、お客様の先物・オプション取引口座の建玉のすべてを任意決済させていただきます。任意決済を行った際の手数料は、次の通りとなります（すべて税込）。

日経225先物：取引金額に対して0.0105%（最低手数料なし）
ミニ日経225先物：取引金額に対して0.0105%（最低手数料なし）
オプション：約定代金の0.6%（最低手数料300円）

■不足金

建玉の返済による損金相当額がお客様の先物・オプション口座にない場合、不足金が発生し、当該決済の受渡日（返済を行った日の翌営業日）までにご入金をしていただく必要があります。受渡日までに不足金の入金がない場合、当社の任意によりお客様の株式口座にある現金の振替手続きを行います。お客様の株式口座に不足金を充当するのに十分な余力がない場合、お客様の先物・オプション取引口座にあるすべての建玉の任意決済を行います（任意決済手数料は追証の期日超過の時と同様）。それでも不足金が解消されない場合は、不足金の解消に必要な範囲内で、次の順序によりお客様の建玉、若しくは保有株を任意決済させていただきます。

1. 信用取引による建玉
2. 現物取引による保有株式

上記1.2ともに、任意決済手数料は約定代金に1.05%（税込）を乗じた金額（最低手数料：10,500円）となります。但し、約定代金が10,500円を下回った場合、約定代金の50%が手数料となります。

■受渡日

日経225先物取引、ミニ日経225先物取引及び日経225オプション取引の受渡日は、転売・買戻しを行った日の翌営業日です。したがって、イブニング・セッションの受渡日は、転売・買戻しを行った日の翌々営業日となります。

■決済

【日経225先物取引、ミニ日経225先物取引】
下記の2つの決済方法があります。

1. 反対売買による決済
   取引最終日までに、買建の場合には転売、売建の場合には買戻しをすることにより決済する方法です。
2. 特別清算指数（SQ）による決済
   最終取引日までに決済されなかった建玉は、最終取引日の翌営業日に算出される特別精算指数（SQ）により決済が行われます。SQとは、取引最終日の翌日の株価指数対象各銘柄の始値に基づいて算出する特別な指数のことです。
   - 売建玉の場合：決済代金＝（建単価－SQ値）×建数量×乗数－（手数料＋消費税）
   - 買建玉の場合：決済代金＝（SQ値－建単価）×建数量×乗数－（手数料＋消費税）
   - 日経225先物取引の乗数は1,000、ミニ日経225先物取引の乗数は100となります。

【日経225オプション取引】
1. 反対売買による決済
   取引最終日までに行われる決済方法で、買方は転売、売方は買戻しにより取引代金を授受することで清算を行います。
2. 権利行使と権利放棄
   取引最終日までに反対売買されなかった建玉は、取引最終日の翌日において自動的に権利行使あるいは権利放棄されます。建玉の権利行使もしくは権利放棄は、SQ値と権利行使価格の以下の大小の関係によって決まります。
   - アットザマネー（SQ値=権利行使価格）の場合
     オプションは自動消滅します。
     【ご注意】
     オプションの自動権利消滅には手数料（税込）はかかりません。
   - アウトオブザマネー（コールではSQ値＜権利行使価格、プットではSQ値＞権利行使価格）の場合
     オプションは自動消滅します。
     【ご注意】
     オプションの自動権利消滅には手数料（税込）はかかりません。
   - インザマネー（コールではSQ値＞権利行使価格、プットではSQ値＜権利行使価格）の場合
     オプションの建玉は自動行使されます。

買方の場合	SQ値と権利行使価格との差額に相当する値から手数料を差引いた金額が受取代金となります。 コールオプション （SQ値－買建玉の権利行使価格）×数量×1,000－（手数料+消費税）＝受取代金 プットオプション （買建玉の権利行使価格－SQ値）×数量×1,000－（手数料+消費税）＝受取代金 【ご注意】 権利行使による決済で手数料（税込み）により決済がマイナスとなる場合、当該マイナス分の請求は行いません。
売方の場合	SQ値と権利行使価格との差額に相当する値に税込手数料を加えた金額をお支払いいただくことになります。オプション取引における権利行使が行われた場合には、売建玉を有するお客様に割当てます。 コールオプション （SQ値－買建玉の権利行使価格）×数量×1,000＋（手数料+消費税）＝お支払い代金 プットオプション （買建玉の権利行使価格－SQ値）×数量×1,000＋（手数料+消費税）＝お支払い代金

■税金

【課税方法】
申告分離課税

【損益通算】
有価証券先物取引、有価証券指数等先物取引、有価証券オプション取引に係る売買損益（差金決済による売買損益に限る）及び商品先物取引（商品の受渡しが行われるものを除く）に係る売買損益との通算が可能
※現物取引及び信用取引の譲渡差損益や外国為替証拠金取引の譲渡差損益と損益を通算することはできませんのでご注意ください。

【課税方法】
申告分離課税

【税率】
20%（国税15%＋地方税5%）

【損失の繰越】
平成16年以降の決済により生じた損失の額のうち、その年に控除しきれない金額については、翌年以降3年間にわたり、繰越控除できます。

変更履歴
2010年7月9日　誤表記の修正
・証拠金について
先物・オプション取引ルール

2010年5月7日　必要証拠金の変更等
・証拠金について
先物・オプション取引ルール

2009年12月10日　半休日の廃止に基づく変更等
・取引時間
先物・オプション取引ルール

2008年12月20日　任意決済手数料変更に基づく変更等
・不足金
先物・オプション取引ルール

2008年10月11日　イブニングセッション取引時間延長に基づく変更等
・取引時間
・注文時間、取引経路
先物・オプション取引ルール

2008年9月5日　総建玉上限の変更に基づく変更等
・総建玉の上限
先物・オプション取引ルール

2008年4月26日　約諾書の電子化に基づく変更等
・口座開設条件
先物・オプション取引ルール

2008年1月5日　逆指値注文開始による変更等
・注文方法
・逆指値（新設）
先物・オプション取引ルール

2007年12月3日　社名変更による変更等
・完全前受制
先物・オプション取引ルール

2007年12月1日　イブニング・セッション開始による変更等
・完全前受制
・注文方法
・注文時間、取引経路
・注文失効
・総建玉の上限
・値洗いについて
・追加証拠金について
・受渡日
・決済
先物・オプション取引ルール

2007年9月30日　金融商品取引法の完全施行よる変更等
・口座開設要件
・注文失効
先物・オプション取引ルール

ページの先頭へ